

## 送電用がいしのフラッシュオーバー特性および着雪特性に基づく雪害対策手法の提案

屋地, 康平

<https://doi.org/10.15017/1866320>

---

出版情報：九州大学, 2017, 博士（工学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：

氏 名	屋地 康平			
論 文 名	送電用がいしのフラッシュオーバ特性および着雪特性に基づく雪害対策手法の提案			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	末廣 純也
	副 査	九州大学	教授	白谷 正治
	副 査	九州大学	教授	岩熊 成卓

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、湿雪の誘電特性、送電用がいしの着雪特性、ならびに着雪がいしのフラッシュオーバ機構などを解明し、既存の磁器がいしと新規ポリマーがいしの塩雪害対策性能評価に基づく雪害対策の指針提案を行ったもので、今後の電力輸送システムの信頼性向上に貢献する電気電子工学上価値ある業績である。よって、博士（工学）の学位に値すると認める。